

ISDB-T OFDM MODULATOR

ISDB-T OFDM変調器

3517B

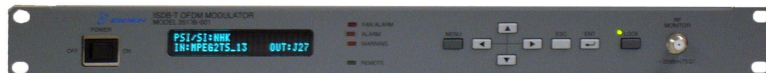
概要

本装置は、日本地上デジタル放送のISDB-T方式に対応したOFDM変調器です。

再多重化部、変調部、RFコンバータ部を内蔵し、1Uサイズで収めました。ご要望に応じてEIA規格(高さ44mm)、JIS規格(高さ49mm)の筐体で提供が可能です。

TS入力は2系統装備していますので、再多重化部に最大2系統のMPEG2 TS入力はもちろん、PID毎に階層振り分けやPSI/SIを多重することも可能です。再多重化後のTS(放送TS)入力もできますので、監視モニタ装置としてご利用できます。

出力チャンネルはVHF/UHF(J1ch~J62ch)、MID/SHB(C13ch~C63ch)、RF出力レベルは0dBm(RFモニタ出力は-20dBm)です。



サイズ :

482.6(W) × 44(H) × 400(D) mm[EIA規格対応]

482.6(W) × 49(H) × 400(D) mm[JIS規格対応]

(突起物を除く)

質量 : 5kg以下

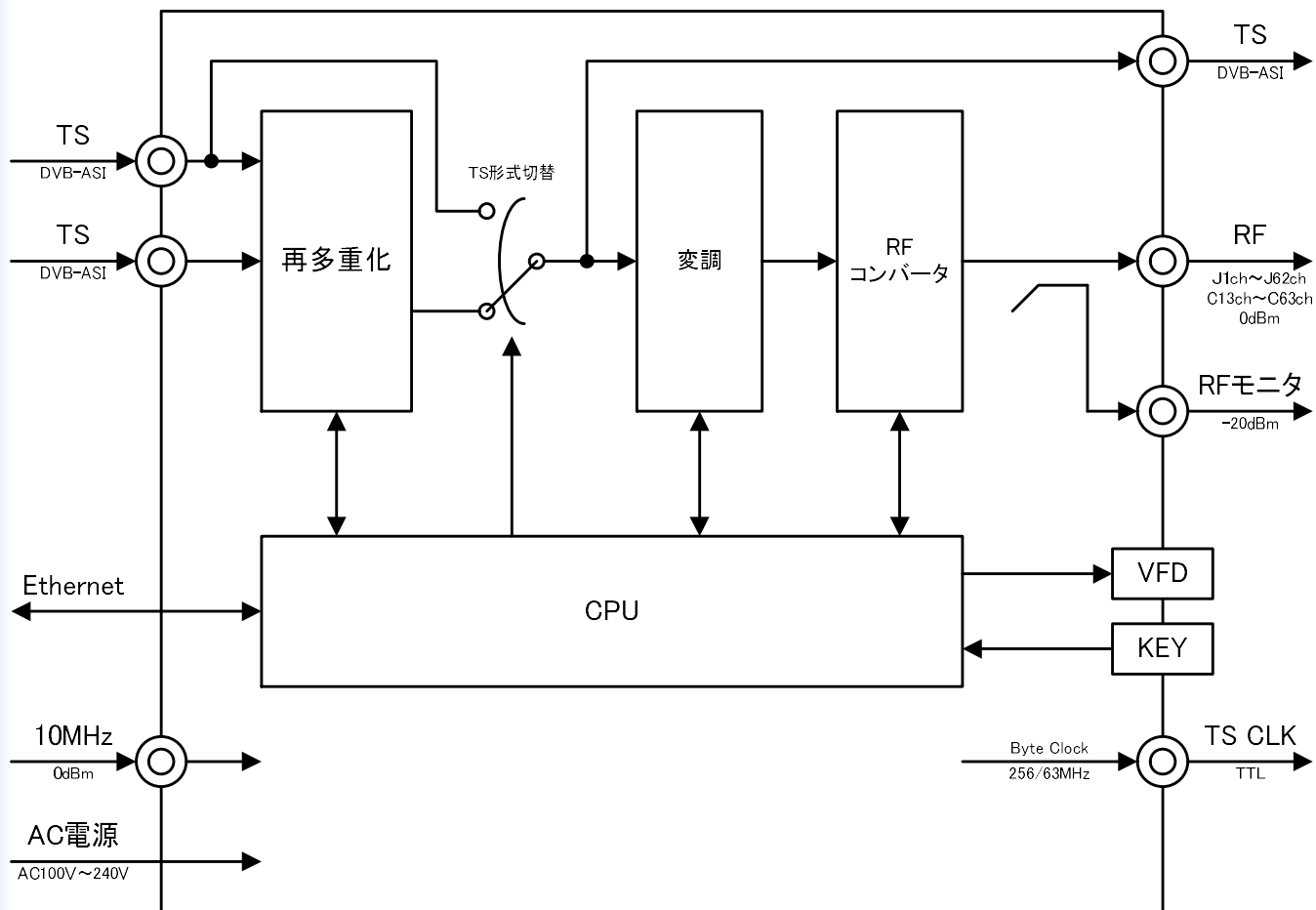
電源 : AC90VからAC250V [50Hz/60Hz]

(入力電圧許容範囲)

特長

1. 日本地上デジタル放送(ARIB STD-B31に準拠)のISDB-T変調波を出力します。
2. 再多重化部、変調部、RFコンバータ部を内蔵し、1Uサイズ(EIA/JIS規格対応)で収め、スタンドアロン操作が可能です。
2. TS入力は最大2系統可能です。
3. 再多重化機能を装備しておりますので、MPEG2 TSを使用することができます。
4. PID毎の階層振り分けや、PSI/SIを多重することができます。
5. 従来機種(3517A)で使用していたリモート通信ソフト(ERU)をお使い頂くことが可能です。
6. 再多重化後のTSを出力することができますので、送出するTSを監視することが可能です。
7. 伝送パラメータは任意に設定することが可能です。
8. 外部10MHz入りに同期することが可能です。
9. PRBSを発生することが可能ですので、TS入力がなくてもテスト信号を出力することができます。
10. 出力チャンネルはVHF/UHF(J1ch~J62ch)、MID/SHB(C13~C63ch)です。
11. RF出力レベルは0dBm(RFモニタ出力は-20dBm)です。
12. 電源はAC入力ですので、外部にACアダプター(AC→DC変換器)を必要としません。
13. Ethernetによる制御が可能です。また、本体前面より設定を変更することも可能です。

ブロック図



※ PSI/SIの解析、挿げ替えの設定は外部PCと接続する必要があります。